

次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業における事業計画書

私立 高山西高等学校

	研 究 内 容
1 年 次	<ul style="list-style-type: none"> ・ Eメールアドレスを生徒一人一人にわたし、その使用法や注意点を十分に指導する。また、海外姉妹校との交流に先駆け、Eメールによる情報交換等をすすめていく。 ・ 環境教育に取り組む学校として、各地の情報を収集し情報交換を行う。 ・ 年度末に行われている校内ディベート大会やディベート全国大会に向けて、そのテーマに沿った情報を収集し整理する。また、他校の先生、生徒の生きた意見や情報を次世代ＩＴを通じて収集する。 ・ 各教科での活用（数学におけるグラフなどの掲示、社会における資料の掲示、英語における海外の高校の交流、理科におけるバーチャル実験、など）。 ・ Eメールやインターネットを大いに活用し、次世代ＩＴを通じたネット交流に慣れ親しませる。
2 年 次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外研修旅行に向けて事前学習を進めていく。また、旅行中の班別研修のための情報をすでに実施している学校から情報を得る。そして、各生徒なりの研修旅行案というものを考えさせ、他校の意見を聞く。 ・ 年度末に行われている校内ディベート大会やディベート全国大会に向けて、そのテーマに沿った情報を収集し整理する。また、他校とのディベート大会を次世代ＩＴを通じて行い、テレビ会議上で競い合う。 ・ 小中高、学校の枠や地域の枠をこえての交流を次世代ＩＴを通じて行う。また、テレビ会議を使用して、高校生が中学生や小学生に対して学習指導や部活動の指導などを行う。 ・ 環境教育に取り組む学校として、各地の情報を収集し情報交換を行う。そして、次世代ＩＴを通じてテレビ会議を行う。
3 年 次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に関するテーマを各自が調べ設定する。それに関する意見交換を次世代ＩＴを通じて行う。 ・ 進路についての情報を収集し、他校からの生きた意見を得る。 ・ 社会人としてのあり方などについて、各分野の専門家の意見を次世代ＩＴを通じて講義してもらう。 ・ 次世代ＩＴを通じてテレビ会議を使用し模擬面接を行う。学校間や学校以外のところからも広く講師を募り、次世代ＩＴを通じて面接指導をする。 ・ 文化講座や一般教養講座などを次世代ＩＴを通じて行う。また、その講師を学校間や学校以外のところからも広く講師を募る。 ・ 生徒一人一人にテーマを持たせ、大型プロジェクターを使用して発表させる。また、その中から選び全校生徒の前や次世代ＩＴを通じて参加校に発表する。